

令和2年度 園芸施設・産地現地研修会のご案内

開催日 令和2年12月18日(金)

開催場所 栃木県下野市・栃木県小山市

主催 一般社団法人日本施設園芸協会

目的

資材費や光熱費の上昇等経営的にまた国際的にも施設園芸を巡る情勢は厳しいものがあり、一層のコスト低減、生産性向上、収益向上が求められています。国においても次世代施設園芸や温室設置コスト低減の推進、省エネルギー化といった燃油対策等の施策が積極的に展開されています。

このような中で、本研修会は、生産者、指導者、研究者、農業団体、施設資材製造会社、農産物販売者等の皆様方に、施設園芸に関する最新の情報や技術等を紹介し、経営の改善、事業の活性化に役立てていただくことを目的に開催しています。

今回は、(株)誠和トマトパーク(多収生産型施設)および(株)小林菜園大規模低コスト耐候性ハウス(大規模土耕栽培型施設)にお伺いして、施設園芸技術および栽培管理から出荷・販売までの特徴的な取り組みについて研修します。

○ 集合: JR小山駅(東北本線)西口ロータリー付近(新幹線側) 12:30(出発)

※昼食を済ましてご集合下さい。

◇ (株)誠和トマトパーク(下野市小金井1963) 13:00 ~ 14:30

先端施設園芸を体感できるトマト栽培施設で、先端技術の「試験・研究」(国産品種トマト収穫目標70t/10aとし、統合環境制御の試験では日本に合った栽培を追求したエネルギー効率の検証)と、情報公開する「視察・見学」及び、次世代の農家育成の「教育・研修」の3つを軸としている。

◇ (株)小林菜園(小山市南半田2195) 15:00 ~ 16:30

平成30年度強い農業づくり交付金(次世代優先枠)を活用した大規模低コスト耐候性ハウスは、面積9,651㎡のトマト土耕栽培ハウスで、「ゆめファーム全農普及版」のハウス、本体・付帯設備の最適・低コスト化により、大規模・高機能(環境制御システム、二層カーテン、フッ素フィルムを採用)・高軒高ハウスを建設し省エネ等の技術が導入されている。

○ 解散: JR小山駅(東北本線) 17:00(予定)

募集人数 : 40名程度(申込期限は2年12月8日(火)、先着順締切りにご留意)

参加費 : (一社)日本施設園芸協会 会員 6,000円
: 野菜流通カット協議会・青果物選果予冷施設協議会会員 7,000円
: 一般(非会員) 8,000円

(見学代、資料代、移動費等を含みます。)

参加の申し込みは、別紙参加申込書を(一社)日本施設園芸協会あてFAXまたはE-mailでお送りください。その後、請求に基づき、参加費を当協会の指定口座にお振り込み下さい。

【問合せ先】

一般社団法人 日本施設園芸協会

TEL:03-3667-1631 FAX:03-3667-1632 E-mail:engei@jgha.com